

5月27日 CVV 定例会 議事要旨(案)

日時：2025年5月27日(火) 午後4時20分から

場所：大阪産業創造館 研修室 E

参加者（順不同・敬称略）：29名（会員・会友）

青木、石原、一ノ瀬、今岡、祝、宇野、大西、川谷、神吉、河野、串田、栗田、黒山、齋木、先本  
清水、下土居、鈴木巖、鈴木威、高田、友廣、夏秋、南荘、野坂、原、坂東、古川、古田、田中

<定例会資料>

- ① 3月18日 CVV 定例会議事要旨(案)（黒山）
- ② 日本建設業連合会関西支部 2025年度第2回「若手会員の会」（夏秋）
- ③ 大阪の河川・橋梁施設の座学・見学会等に関する関係者打合せ議事要旨（鈴木巖）
- ④ 西宮市打合せ議事録メモ（夏秋）
- ⑤ 2025年度 CVV いきいき(学童支援)「橋の模型づくり」活動状況（鈴木巖）
- ⑥ 市民向け広報・見学会企画グループ第1回打合せ議事録（祝）
- ⑦ 関西地区防災講演会（夏秋）
- ⑧ 2025年度 CVV 他団体連携の進め方（案）（南荘）

<主な議事>

総会に引き続き定例会を開催した。議事は以下のとおり。

1. 資料②に基づいて日建連との交流について報告した。今回は試験的に実施するもので、「若手会員の会」の中で CVV 会員 2 名が講演し、それをもとに先方の若手会員と討議することになった。（夏秋）
  - ・ 次回以降はどのような計画か。今後も継続するのか。（青木）  
→今回は試験的に実施。次回は秋に予定しているが再度先方と協議して内容確定する。継続開催の可否は先方の意向によるが、CVV 側としては日建連若手会員との交流を基本として協議する予定。（夏秋）
2. 資料③に基づいて、都島工業高校での「大阪の河川・橋梁の座学・見学会等」に関して、学校との協議内容、具体的な実施計画が報告された。（鈴木巖）
  - ・ 日建連のイベントと重なっているので CVV 側の参加者は調整が必要である。（夏秋）  
→承知している。鈴木威会員は日建連のイベントに参加する。（鈴木巖）
3. 過日実施の西宮市との打合せ内容を資料④に基づき報告した。また、CVV 側の参加者（高田、黒山）が補足説明した。（夏秋）
4. いきいき(学童支援)「橋の模型づくり」活動について、2025年度の予定等を資料⑤に基づき報告した。今年度初回（7月26日）のグループ外の協力者は南荘・一ノ瀬会員、黒山を基本に今後調整する。（鈴木巖）
5. 今年度の市民向け広報・見学会企画について、グループでの協議内容を資料⑥を基に報告した。（祝）
  - ・ どれくらいの距離なのか。（夏秋）  
→下見していないがそれほどの距離ではない。（祝）
6. NECXO などが主催する「関西地区防災講演会」において南荘会員が講演し、CVV メンバーも数名参加したことを資料⑦で報告した。（夏秋）

7. 他団体連携グループの検討方針、今後の進め方を資料⑧に基づき紹介した。(南荘)
  - ・ 橋建協から講演依頼があるのか。(川谷)  
→未定であるが今後先方と協議していく予定。(南荘)
8. その他
  - ・ CVV のホームページや「CVV の男たち、女たち」などの小冊子に代表挨拶があるが、代表変更に伴って差し替えが必要でないか。なお、「CVV の男たち、女たち」は新入会員の記事を随時追加しているの、今後記事を追加した段階で代表挨拶を差し替えることとする。(夏秋)
  - ・ 都島工業高校での土木施設見学会の窓口教員から連絡があり、工業高校の土木系教員で組織する「近畿高等学校土木教育研究会」を 7 月に開催するにあたって、震災 30 年に関する講演依頼があった。人選をお願いしたい。(鈴木巖)  
→鈴木威会員が対応する。
  - ・ 大学教員も震災を経験していない人材が増えつつあるので大学教員向けの研修・講演にも今後取り組んでいきたい。(川谷)
  - ・ 明石高専から震災関連の講義の依頼があるので南荘会員をお願いしたい。(川谷・青木)
  - ・ 例年 CVV 年度活動報告を HP に掲載しているので継続してもらいたい。また、関西支部の交流会に今年度も活動報告してもらいたい。(川谷)  
→活動報告作成は青木幹事長が検討する。  
→交流会での発表はいきいき活動の報告がよいのはないか。(黒山)
  - ・ 次回定例会は 7 月 22 日 (火) に実施する。

文責：黒山